





技術・研究 の名称	竹由来資材(竹粉、パルプ材)の農業利用																
研究・技術の 概要及び特徴	<p>荒廃竹林の伐採等の管理作業によって得られる竹材から得られる、既に何らかの形で(商業)利用されている資材について、これに新たに加工等の手を加えることなく、農業の生産現場で利用する方法について検証、あるいは新たな開発を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 竹材を破碎した「竹粉」を、施設園芸で蔬菜を生産する際に培土表面に播く「マルチング」材として利用した際の、培土と植物根への影響や収穫物の収量・品質への効果を調べる。 竹由来のパルプ材を、農研機構九州沖縄農業研究センターで確立された「植物工場における高品質スプラウト生産技術」に適用する。 																
適用範囲・用途	<p>施設園芸・植物工場における蔬菜(ソイ)生産に関する基盤技術として</p> <ol style="list-style-type: none"> 破碎竹材によるマルチング 竹由来パルプ材を培地としてスプラウト生産 (※ スプラウトとは、穀類、豆類、野菜の種子を人為的に発芽させた新芽作物) 																
工業所有権等	特許・実用新案・商標登録等の排他的権利の有無 【 無 】																
写真、グラフ、 模式図等	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">「竹材の農業利用」</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>例</td><td>TOC</td><td>TN</td><td>C/N</td></tr> <tr><td>稲藁</td><td>40</td><td>0.8</td><td>50</td></tr> <tr><td>竹材</td><td>50</td><td>0.2</td><td>250</td></tr> <tr><td>堆肥</td><td>20</td><td>1.2</td><td>17</td></tr> </table> </div> <div style="width: 45%;"> <p>伝統的な有機マルチングである「敷き藁」の代替資材として(プラスチックフィルムと特性が異なる)</p> <p>(地温) 保温⇔冷却 栽培終了後、鋤き込み</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">     </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">施設園芸における竹マルチングの概念</p> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">植物工場において竹パルプを用いたスプラウトおよびベビーリーフ葉菜の生産の状況</p>	例	TOC	TN	C/N	稲藁	40	0.8	50	竹材	50	0.2	250	堆肥	20	1.2	17
例	TOC	TN	C/N														
稲藁	40	0.8	50														
竹材	50	0.2	250														
堆肥	20	1.2	17														
連絡先	<p>九州大学 生物環境利用推進センター 教授 吉田 敏</p> <p>住所: 〒 812-8581 福岡県福岡市東区箱崎 6-10-1</p> <p>電話: 092-642-3060</p> <p>E-Mail: yochi@agr.kyushu-u.ac.jp</p>																